

ばいかゆきにわしてかんばし
梅花和雪香

「白梅と雪の色が相和した世界に
梅花の良い香りが漂っている」

厳しい寒さの中で凛と咲く梅花は
古くから日本人に愛されてきました
苦難の中で咲く花に光を見ていたのでしょうか
冬に命を終えるもの
花を咲かせるもの
その花で命をつなぐもの
そして春をじっと待つもの
寒い冬を生きぬく方法は実に多様
今回は春をじっと待つものの中から冬芽を紹介します



冬芽

春に芽吹く
枝葉や花が
冬を越すために
小さく
まとまっている芽



冬芽を守る多様性



ブナ

ウロコ状の衣(芽鱗)^{がりん}を重ねる
(落ちていた芽を調べました)



トチノキ

芽鱗に粘液をまとう



ヤマツツジ

越冬葉で包む



コブシ (花芽)

フワフワやツツヤなど多様な毛で覆う



ミツマタ (花芽)



コゴメウツギ

予備の芽を準備する

冬芽を巡る多様性

鳥



花芽を食べた痕

虫



芽に侵入し
膨らんだ芽 (虫えい)

人



フレ~!フレ~!と
応援しているみたい...



葉が付いていた痕(葉痕)が顔
に見えるのでいろいろな顔を
探すのも冬芽観察の楽しみ♪

幾多の苦難も乗り越えて それぞれの春を迎えられますように

11月23日コレンジャー同窓会報告



7年目となったコレンジャー同窓会。小学5年生から高校2年生までの12人がビオトープに集いました！

今回は感染拡大防止のためだけでなく、台風や大雨による大きな被害がなかったため、整備は次回のお楽しみにしました。

近況を話し合った後、小宮地区を散策。ビオトープでは初確認の野生動物を2種発見！したり、散策中に懐かしの遊びを後輩に教えたり&教えられたり。秋空を美しく飛翔するハイタカを観察したりと、コレンジャー時代に戻ったような一日を過ごしました。



「後輩を見ていて昔の自分を思い出した」「緊張したけど先輩が優しく教えてくれて楽しかった」「仲間と自然観察しながら懐かしの森を歩けたことが逆に嬉しかった」同じ経験や関わった自然がそこにあり続けることは、みんなにとっても素敵なことなのだと思えて感じた感想。

「自然を元気に！」を心に子どもたちと活動してきましたが、新たな日常の中で暮らす子どもたちに「自然から元気を！」持ち帰ってもらえることを願った同窓会。私たちにとっても大切な一日となりました。参加してくれた仲間へ感謝！自然へ感謝！今回参加できなかった子どもたちにも感謝！

第10期コレンジャー12月の活動報告



12月は地域の自然と歴史を見付けに里山探検(^_^)

秋川のカモに見とれ、山から見渡す都心に、はるか昔の姿があったことを想像し、洞窟と海のつながりにワクワク…お城の役割も知りました。

自然も発見しましたが、一番盛り上がったのは、誰からともなく始まった落ち葉集め&遊びでしょう(^o^)

生き物が少なくなった冬の森でも、たくさん楽しめることを子どもたちから学びました。今期のコレンジャーにかかれは短めコースも時間が足りない～(笑)

1月の活動は緊急事態宣言のため中止となりましたが、自然に学ぶ活動が再開できる日をみんなで待ちましょう。

